資料３

善防小学校校章デザインの説明一覧

No	校章デザインの説明・デザインに込めた思いや意味
1	校章のデザインは花 鳥の翼 背景には善防山にしています 白い花は純粋純白っと言った花言葉があり鳥の翼は自由そして善防山はいつまでも子供たちの成長を見守ってるっという色んな意味合いを込めて創作させて頂きました そして入校なさる生徒達が気に入るようなデザインに仕上げました 僕は下里小学校 善防中学校の卒業生で大変お世話になりました。賀茂小学校と下里小学校が統合すると聞き最初は驚きましたがお世話になった場所になにか恩返しができたらなと言う想いで創作させて頂きました。
2	下里小の「し」と賀茂小の「か」を合わせた鹿角状の外枠で両校の統合を、下部の三つ星で下里小の伝統と「元気・本気・根気」の「下里魂」を継承。中央で伸びやかに手を掲げる姿はラジオ体操のまち・賀茂の健康的な精神を表します。基調となる濃紺は誠実さや知性、地域との信頼関係を表現。誰からも親しまれるようシンプルで覚えやすいデザインに仕上げ、両校の歴史を力強く受け継ぎながら、未来へ向かって健やかに羽ばたく子どもたちの成長と飛躍への願いを込めています。
3	主人や養父母、子供3人が下里小学校にお世話になりました。私は東京から嫁としてこちらに来ました。都会にはない温かい雰囲気、優しい友達や先生方、地元の方たちに見守られているこの地区は本当に素晴らしいと思いました。その優しい雰囲気そのままにおおらかにすくすくと育って巣立ってほしいという気持ちを込めました。子供が減っている今、また子供たちが増えて活気に満ちてほしい気持ちも込めて作成してみました。よろしくお願いします。
4	それぞれの校章に込められた想いを受け継ぎ、新しい善防小学校として一つになる姿を表現した。3つの青い逆三角形 下里小学校の校章をそのまま受け継いだシンボル。「これまでの伝統を新しい学校へつなぐ」ことを表現。中央の赤い「人」のモチーフ賀茂小学校の校章をもとにした形。両手を広げた子どもの姿にも見え、子どもたちの成長・希望・未来への羽ばたきを表現。左右の緑の葉2校から新しく芽吹く子どもたちの成長を表現。中央の人を包み込むように配置することで、地域に見守られながら育つ子どもたちを表現。
5	令和らしく力強いイメージで作りました。イチョウの葉は下里の象徴でもあるので校章のデザインとして取り入れたかったので入れました。下里と賀茂が統合するので今までとは違う形の校章で新たに力強く自分にも負けない姿勢で勉強や運動に励んでほしいです。
6	黒色の方は加茂。青色の方は下里。イチョウの葉は下里のシンボル、イチョウの木の葉をイメージしました。双方が手を取り合い助け合う様子を校章っぽく作りました。違う学び舎で育った子供たちが違う環境の下、新しい校章を背負い切磋琢磨してお互いを助け合い高めていってほしいです。最初は戸惑いぶつかり合うと思うけどそれも成長の糧として頑張ってほしい。
7	・なかよく、やさしく 大空（自分の夢）へ飛び出してほしい！ ・下を向かず、空を見上げ 元気な小学生であってほしいとの思いです。
8	1 下里小の西側に聳え立つ善防山と下里小の校章をオマージュさせ、賀茂小のシンボルである桜を取り入れました。2 下里小と賀茂小のシンボル達を掛け合わせ、協調性を培ってほしいという願いを込めています。3 自然豊かな善防とグローバル化する社会に向け、学校名を緑色の英語表記にしました。4 余談になりますが、小学6年生の時、賀茂小学校の未来について作文を書き発表会をする授業があり、「賀茂小学校がなくなることになっても、桜だけは残して欲しい」と話した同級生達の声を思い出し、校章デザインに桜を使いました。
9	山は、善防山をイメージし、山の頂上を目指してあきらめずに1歩1歩登るように、常に高い目標をもって、努力する学校になってほしい。桜は運動場の近くにある桜をイメージし、入学式や卒業式の時期にさく花だから、新しい出会いを大切にし、卒業後はそれぞれの未来へ力強く族立っていってほしいという思い。
10	みんながやさしく。たくましくなってほしいという思い。

11	花みたいに元気に咲いているのを表したかったから花をかきました。 まん中の「小」は、小学校の「小」を入れました。
12	学校、家庭（保護者）子供（本人）が三位一体となって教育や学校生活を作っていく。
13	前進（ぜんしん）　飛躍（ひやく）　邁進（まいしん） 次の学年や進学しても何事にも前向きに行動してほしいイメージ。
14	善防の大地の上で子どもたちがつくる成長の山と、豊かな自然や善防山を重ね合わせました
15	しぜんをあらわすいなほのおくに善防山のさんちょうのマークを書きました。
16	今までとちがう感じ で、善防中を生かしたかったから。
17	上が賀茂小のマークの一部です。下が下里小のマークです。小が小学校の小です。囲いがなかよく手をつないでいるようなわです。
18	小学校のうしろに山があるイメージ。
19	善防中学校があと1年半でなくなってしまうので、卒業生の人の気持ちをこめて善防山　善防池の由来の校章をもとに考えました。善防小学校もあと何年続くのかわかりませんがみんなに長くいつまでも覚えていて欲しいです。
20	かも小学校と下里小学校のみんなでいちがんとなってなかよくしたいからくみあわせました。
21	名前が善小学校で、善防中学校の校章の「中」を小学校の「小」にしました。
22	賀茂小と下里小、それぞれの歴史と地域を受け継ぎ、二つの学校が一つになる「統合と調和」を表現。左右に広がる形は両校の歩みと子どもたちのつながり、中央の円 は一人ひとりの子どもを表す。上下の三角形は、地域に支えられながら未来へ成長していく姿を象徴。左右＝二つの学校・二つの地域、上下＝過去から未来へそして、それらが中央で交わる。つまり、「二つの地域の歴史を受け継ぎ、互いの違いを生かしながら、一つの未来へ進む」というイメージ。
23	善防なので盾をイメージしました。合併を十字であらわし、善防山の下に ZENBO のロゴ を配置しました。
24	この校章は、下里小学校と賀茂小学校が統合して誕生した善防小学校を象徴しています。中央の三つの山は地域の共通の山である善防山を表し、学校の誇りと結束を示しています。下の三連のアーチは善防池に架かる橋を表し、二つの学校と地域をつなぐ架け橋を意味します。ZENBOSHO　の青は善防池の水、緑は豊かな自然と子どもたちの成長を表し、未来へ歩む善防小学校への思いを込めています。
25	善の口 の部分を学校に見立て、そこから善防の地域を通して双葉が成長していく様子をイメージして描きました。上の山は善防山をモチーフにし、山の下の点は小学校の「小」の字ができるように付けました。2 校の統合となるので、左右対称のデザインにして、2 校（左右）がぴったり重 なり合う様子を表せたらと考えながらデザインしました。
26	日 本全国 の数ある山のなかでも善防山の山容は類を見ない特別な『 個性』であり、同時に『 品格』を備えた稀有 な存在である。これに善防池の『 清らかな水』を加えて意匠 化した。池のデザインは、最下段の2つ四 角が各 小学校を表し、合併した 2 つの四 角は丸みを帯びながら 3 へと増え、さらに融合効果で 4→5 と拡大していく無限の可能 性を表現。『 個性』と『 品格』に『 清らかな心』を育む善防っ子の教育ポリシーを記号化した。

27	ふたつの校章を合併の歴史として刻んだ新エンブレム。輪郭のトップは善防山の三つの頂点を象り、山の緑を起用。各小学校の歴史が融合して新しいカタチを構成。下段の装飾は『一つの蝶の羽ばたきが世界に影響を与える大きな風になる【バタフライ効果butterfly-effect】』を表現。子供達には大きな希望と夢を持って日常の小さなことに全力で取り組むことへの意義を学びに思いを込めた。二つの色の蝶々は二つの小学校生を表し切磋琢磨して舞い上がるチカラを表す。
28	校章に中央には、学校の裏にそびえる善防山をイメージしたものを描きました。緑色を基調とし、山や周囲の葉によって、豊かな自然に恵まれた地域の風景を表現しています。全体を伝統と気品を感じさせるエンブレム風にまとめ、リボンには学校名の「ZENBO」を英字であしらいました。豊かな自然に見守られながら、子どもたちが夢や希望を胸に、それぞれの個性を伸ばし、未来へ向かって大きく成長していくことへの願いを込めています。
29	紺色と黒色は統合前の2校の校章に、エンジ色は善防中学校の校章に用いられた色を取り入れ、これまでの歴史や思いを受け継ぎながら、新たな学校の一体感を表現しています。中央の山は、子どもたちを見守る善防山、頂の星は希望に満ちた未来と一人ひとりの輝きを表します。両側の葉は、豊かな自然と健やかな成長、地域とのつながりの象徴です。中央の「Z」は善防、「S」は小学校（またはSchoolの頭文字）を表し、地域に根ざし、未来へ羽ばたく学校への願いを込めています。
30	本校章は、地域のシンボル「善防山」と、未来へ羽ばたく子どもたちの姿を象徴的に表現しています。中央の善防山は地域の歴史と温かい見守りを、山から大きく広がる翼は2校の統合と未来への飛躍を表します。頂点の「Z」は Zenbo の頭文字として新たなアイデンティティを掲げ、下部の「小」の文字は健やかな成長と学校の基盤を意味します。全体を包む円は、地域・学校・家庭の調和と固い絆の象徴です。シンプルで視認性が高く、校旗や名札など幅広く親しまれるデザインです。
31	本校章は、地域のシンボル「善防山」と、未来へ翼（※）を広げる子どもたちの姿を表現したデザインです。円枠の中に山・翼・頭文字「Z」・「小」をバランスよく配置し、統合による新たな出発と伝統の継承を象徴しています。※翼のデザインは、コウノトリの翼をシンプルにデザイン。幸せを呼ぶ鳥であり善防地区の池に飛来することで採用した 善防山を翼: 地域が見守る善防山と、そこから大きく広がる翼により、2 校がひとつとなり未来へ羽ばたく児童の姿を表します。「Z」と「小」: 頂点に配した「Z（Zenbo）」は未来への飛躍を、下部の「小」は大地に根ざし健やかに育つ学校の基盤を意味します。外円: 統合による調和と、地域・家庭・学校が一体となって育む温かい絆を象徴しています。 整理されたシンプルなラインで構成し、校旗や看板から体操服・名札の刺繍まで、サイズを問わず高い視認性と親しみやすさを備えています
32	統合する二つの小学校の歴史と伝統を受け継ぎ、地域への誇りと子どもたちの輝かしい未来への願いを込めてデザインしました。中央の鴨は、古代、この地域を含む一帯が「賀毛郡（かもぐん）」と呼ばれていた歴史に由来するモチーフです。『播磨国風土記』に伝わる鴨と郡名にまつわる伝承を踏まえ、地域の歴史と文化を次の世代へつなぐ象徴としました。背景の善防山は、地域の豊かな自然と子どもたちのたくましい成長を、山の向こうに昇る太陽は、希望に満ちた新たな門出と未来への飛躍を表しています。全体を囲む円は、二つの学校の統合と地域の絆を象徴し、緑色は自然と成長、金色は希望と未来の輝きを表現しています。地域の歴史を礎に、子どもたちが互いに支え合い、地域とともに成長し、希望あふれる未来へ羽ばたいてほしい。その願いを込めた愛嬌のある校章です。
33	五角形に込めた生命の輝きと、未来へつなぐ学びの心 校章の外形には、自然や生命の調和と成長を象徴する正五角形を採用し、子どもたちが個性を輝かせ共に伸びゆく姿を託しました。中央には頭文字「Z」と善防山の稜線を重ね、豊かなふるさとから未来へ力強く歩む姿を表現。下部の曲線は大地や水の流れを表し、地域に根ざした学びとつながりを意味しています。深い緑色は生命の力強さと健やかな成長の願いです。自ら描ける親しみやすいデザインには、善防小学校で学ぶ子どもたちが希望を胸に、地域と共に輝く未来を切り拓いてほしいという想いが込められています。

34	てんしのようなやさしい学校になってほしい。
35	しもさとといっしょに中学生もなかよくいたいから
36	この善防小学校の校章には、統合の歴史と未来への願いを込めました。中央の黒いパーツは賀茂小の「か」、青いパーツは下里小の「し」をモチーフとし、重なり合って善防小の「Z」を形作ります。左右の緑のパーツは善防山を表し、全体で小学校の「小」を表現しています。さらに、左右のパーツが中央のくぼみにピタリとはまる構造になっており、両校の生徒が力を合わせ、1つの大きな柱となって未来へ歩んでいくという強い想いを込めています。
37	ぜんぼう小学校のぜんは「よい」といういみなのでよい子がまあるくわになるイメージにしました。
38	善防の「善」という漢字をもとに考えました。 緑の葉っぱは統合する2つの小学校がひとつになって、新しく、元気な芽を出したところをイメージしています。木がすくすく育つように真っすぐ元気に成長する様子を表しました。下のカーブはみんなの笑顔を表しています。「善」の文字のようにやさしく思いやりのある学校になってほしいという思いをこめました。
39	・2つの重なり合う円は、加茂・下里の2校を表し、「緑色」は、自然と調和、健康を表し、善防地区のシンボルの善防山を入れ、「青色」の文字は、信頼と知性、誠実を表し「黄色」は活発で明るさを表します。
40	・外周は2つの稲穂で円を作り、2校（加茂小、下里小）が1つになったことを表し、両校の発展と安全を願います。シンボルに善防山を入れました ・各文字の「青色」は、信頼と未来を表し「緑色」は自然と調和・未来を表します。
41	・外周の2つの稲穂は、2校を表し、シンボルの善防山の上で1つになっています 稲穂は実りと発展を意味しています。 ・文字の「青」は信頼と知性・未来を表し、「緑」は自然と調和・知性と未来を意味しています。
42	・外側の2つの稲穂は、加茂と下里の2校を表し、互いに丸く成長して、行くのを願って。 ・中心の善は「骨文字」を表し文字の成り立を考えて、親しんでほしいと思います。意味は「羊」と「言言」を組み合わせた会意文で古代の裁判を表す文字です。「正しく、道徳的にすぐれている」という意味です。「青色」は信頼と誠実をあらわしています。
43	・2つの丸は、加茂と下里の2校がいっしょになった事を表し、小の字と同じ青色は信頼と誠実さを表しています。 ・シンボルは、善防山を冠に持ってきました。 ・アルファベットの黄色は、明るくて、活発な生徒達の事を表した色です。
44	・2つの丸は、加茂小と下里小の2校が「緑」の健康・平和と「青」の知性と未来が交わって発展する事を表しています。 ・善と両サイドの「》 《」で善防小学校を意味しています。（黄色は、明るくて活発な生徒になる様に）
45	・2重の丸は、2校を表し「黄色」は温かく活発で希望を持って成長することを願って。シンボルの善防山は、「青色」で冷静、安心感を表しています。 ・小の「緑色」は、自然と調和・安らぎを表しています。
46	・重なり合う丸は加茂と下里小学校を表し「信頼」と「冷静・安心感」を表します。中心の善の字は自然と調和の「緑」にして小の両側の「ハ」は「黄」にして明るく活発に成長することを願って

47	善防小学校の「善」の文字をモチーフにデザインしました。下里小学校の校章にある「3 つの三角形」と、賀茂小学校の校章の「力」の形を活かし、4 つのパーツを縦に組み合わせて「善」の形を描いています。 上から下へと並ぶパーツには善防地区の豊かな自然のつながりと、子どもたちの未来への願いを込めました。 ・オレンジ（太陽）：情熱と元気、2校がひとつになる温かい絆 ・青（空）：高い目標へ向かう広い心、どこまでも広がる可能性 ・緑（自然）：善防山や田園のように、たくましく育つ生命力 ・青（水）：地域の川やため池のように、清らかで澄んだ心 太陽の光と大空が大地を照らし、清らかな水が命を育むように、両校の歴史を受け継ぎながら子どもたちがすくすくと育ってほしいという願いを表現しています。
48	2 つの学校を混ぜたイメージで渦巻きのようにした。合体していいことも合わさるようにイメージ
49	イメージ：加西市の名山「善防山」と「小」の文字を、未来へ羽ばたく「鳥」の姿に重ねてデザイン。左右の翼は、統合する2校が育んできた歴史と伝統を表し、互いに認め合い、支え合い一つとなって未来へ飛び立つ姿を表現。想い：両校の歴史と伝統を受け継ぎ、こども達が自然豊かな環境の中で、互いの良さを認め合いながら健やかに成長し、善防山からそれぞれの夢と希望を胸に未来へ大きく羽ばたいて欲しいという願いを込めました。
50	新しい小学校の校章には下里、賀茂小学校が 100 年以上にわたり育んできた歴史と伝統を受け継ぐことを重視した。下里小学校の校章に込められた「3 つの星」を「善防山」とコラボさせ、こども達の若々しい力とたくましさを表現した。また、賀茂小学校の校章にある「小」の文字を鳥の姿に重ね、自然豊かな善防山の麓で学び、健やかに成長したこども達が、夢と希望を胸に未来へ大きく羽ばたく姿を表した。
51	・「これまでの 2 校（賀茂・下里）の歴史も大切にしつつ、新たな伝統を築き上げていってほしい」という願いを込めて、2 校の校章の一部を使用しています。 ・ラジオ体操の考案者の 1 人である大谷武一さんが賀茂小のご出身であるということは、次世代へも伝えていくべきことではないかと思うので、ラジオ体操の手の動きを組み合わせました。 ・若葉色は若葉のように生き生きと、水色は大空のような無限の可能性を表しています。
52	春に新しい 1 年生がたんじょうするのと同じで、小学校もそれぞれの年の新しい小学校がたんじょうするという意味をこめて、桜の花をイメージしてデザインしました。
53	善防小学校のカタカナの「ゼ」をモチーフに、加茂小学校と下里小学校が合併し一つになった善防山を表現（ブルー箇所）。暖かく見守られる環境（グリーン箇所）で子供達がこころ豊かに高い目標（赤い丸）を目指し成長していく姿を表現しています。
54	枠の形は、善防山が善防池の水面に映った様子を現します。下里小学章を花弁とし、賀茂小校章の「小」の部分を茎と葉にする事で、両校の校章を引き継ぎ統合を表現しています。児童が善防山の麓で逞しく美しく咲く野花の様に、健やかに成長し人生の花を咲かせてもらいたい思いを込めています。
55	善防山の麓を流れる賀茂川・下里川・善防川が一つの流れになるように、善防地区の子どもたちが一つになり、新しい未来を築いていくように願いを込めました。善防の頭文字「Z」を山と川の流れで表現し、下の本にはたくさんの学びを、加西市の花であるサルビアには地域とのつながりを、緑の葉には豊かな自然を表しました。

56	旧下里小学校の校章にある３つの三角形は、「元気・本気・根気」の三つの気を表し、善防山をイメージして配置しました。旧賀茂小学校の校章の一部の形をハートの上部に取り入れ、地域全体で子どもたちを温かく包み込む思いを表現しました。また、川の流れには、下里の「S」、賀茂の「K」、善防の「Z」を重ね、二つの学校の歴史を受け継ぎながら、地域と子どもたちが一つになり、新しい未来へ歩んでいく願いを込めました。
57	ずっと一年生から六年生まで小学中学高校大学その中で一ばんながい学年まである美しい小学校。
58	「学びを、力にかえて、仲間とささえ合い、未来へ羽たく。」というねがいをこめて鳥は加西でよくみかけるこうの鳥です。
59	学びを中心に、人と自然のつながり、新しい未来を生み出していく学校。波は、地域や人とのつながり、星は、１人１人が自分らしい未来や夢をイメージしています。
60	桜をモチーフに、両校の校章を使用して、新しい出会いと花開く未来をイメージ
61	しもさととかものわがいっしょになってぜんぼうしょうがっこうになるイメージ。
62	２つの学校のおもいがまじわってずっとつながっていくきずなをイメージ。
63	みらいへむかって大きくはばたく学校。
64	ぜんぼう小学校のぜをイメージしました。
65	この校章にした理由は、みんなで協力や助け合いをずっとしてほしいや、続けてほしいからです。上の校章デザインは、、かも小学校と下里小学校のみんなが手をつないでいる様子を表しました。
66	下里小学校と賀茂小学校ににているようなさんかくとバツをあわせました。みんながあいさつをするというねがいもこめられています。
67	サクラをイメージして、蕾から花へと成長する感じや後ろの三角は善防山をイメージしました。校舎がかわっても子どもたちの笑顔はかわらないそんな平和で楽しい学校がいいからです。
68	学校名である「善防小学校」の頭文字であり、道徳心や心豊かで正しく健やかな成長を表しています。
69	善防校区にある善防山を表現するために山をかき、その奥に朝日 がのぼるようにすることで子どもたちが成長していくようなイメージにするような校章にしました。
70	かも小学校と、下里小学校の形を合わせて、これからもっと、せい長していくかんじをあらわしました。まわりは、ぜんぼう山をあらわしていて、学校を見まもってくれています。
71	・善防山…地域に根ざし、ふるさとを大切に ・蔦の葉…賀茂小の歴史を受け継ぐ ・かくれた善 ・３つ星…下里小の歴史を受け継ぐ ・つながり守る ★善防の地で、つながり 未来へ
72	賀茂小学校と下里小学校、それぞれを象徴する体操服の色から、緑と紺を取り入れました。二つの色が、両地区の間にある善防山に向かって一つになる姿を表現しています。善防山は善防中学校の校章にも使われてきた、善防地区の象徴です。二本の線には、学校や地域で築かれてきた歴史や伝統、人とのつながりを受け継ぎ、未来へつなぐ思いを込めました。二つの小学校を知らない世代にもその歴史を伝え、これからの子どもたちが新しい文化や地域のつながりを創ってほしい。「二つが一つに、そして新しく。」そんな願いを込めました。
73	賀茂小学校と下里小学校、それぞれを象徴する体操服の色から、緑と紺を取り入れました。二つの色が、両地区の間にある善防山に向かって一つになる姿を表現しています。善防山は善防中学校の校章にも使われてきた、善防地区の象徴です。二本の線には、学校や地域で築かれてきた歴史や伝統、人とのつながりを受け継ぎ、未来へつなぐ思いを込めました。二つの小学校を知らない世代にもその歴史を伝え、これからの子どもたちが新しい文化や地域のつながりを創ってほしい。「二つが一つに、そして新しく。」そんな願いを込めました。
74	善防の「Z」と小学校の「小」、未来へ羽ばたく「鳥」をモチーフに作成しました。